

# 富士山を世界文化遺産に！



西白塚からの天空と富士山（撮影：高田 壮三）

## 2月23日は「富士山の日」！

### 富士山を寿ぎ、ふじのくにへ！

私たちが仰ぎ見る富士山は、日本の最高峰というだけでなく、古より火を噴く山として崇められ、また芸術文化の源泉として愛され、さらには清らかな水を恵んで生活・生命を育む神の宮と存在として時代を超えて尊ばれてきました。

このような富士山を後世に引き継ぐ日として、静岡県は、平成21年12月に「静岡県富士山の日条例」を制定し、2月23日を「富士山の日」と定めました。

今年度、2回目の「富士山の日」を迎えるにあたり、静岡県では、新しい「ふじのくに」づくりを宣言する「富士見の式典」をはじめとする「富士見の祭典」を開催します。

静岡県は、「富士山の日」を県民一人ひとりが「富士山の日」の理念を学び、考え、行動につなげる契機とするとともに、富士山の環境保全や世界文化遺産登録の早期実現に向けた気運を高めていきたいと考えています。

## News List

- ◎「富士見のイベント」にようこそ  
世界文化遺産の講演会を開催
- ◎シリーズ「構成資産の紹介」『村山浅間神社』
- ◎富士山県民講座に約200人が参加
- ◎「県政さわやかタウンミーティング」を開催

# 「富士見のイベント」において世界文化遺産の講演会を開催

静岡県では、「富士山の日」を中心とした2月19日(土)から23日(木)までを「富士見の祭典」として位置付け、富士山や「ふじのくに」にちなむ催事を中心として実施してまいります。その祭典の一つとして、2月20日(日)にグランシップにおいて「富士見のイベント」世界文化遺産特別講演会・ふじのくに芸術回廊フェスティバル」を開催します。「世界文化遺産特別講演会」では、静岡県立美術館長の芳賀徹氏が「富士―日本のマドンナ 北斎の『富嶽三十六景』をめぐる」と題し、富士山と芸術の関わりについて講演を行います。

世界に誇るべき私たちの宝である富士山について、「学び」「考え」「思い」を寄せていただくためにも、多くの皆様の御参加をお待ちしております。

**日時** 平成23年2月20日(日) 10:30~17:00(開場10:00)

**場所** 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」中ホール  
(静岡市駿河区池田74-1)

**その他** ●御来場の皆様に「富士山の日」記念グッズをプレゼント  
●入場無料

## 富士見のイベントプログラム

### 午前の部 富士山の日記念 世界文化遺産特別講演会

10:30~ 開 会  
主催者挨拶  
来賓祝辞

10:45~ 特別講演  
12:00 講 師 芳賀 徹氏  
演 題  
富士―日本のマドンナ  
北斎の「富嶽三十六景」を  
めぐって



は が とおる  
芳賀 徹氏

静岡県立美術館館長 東京大学名誉教授  
東京大学教養学部教養学科フランス分科卒業  
東京大学大学院比較文学比較文化専攻 博士課程修了  
文学博士  
近代日本比較文化史、比較文学専攻  
・1992年 東京大学名誉教授  
・1997年 国際日本文化研究センター名誉教授  
・1998年 岡崎市美術館館長(現在に至る)  
・1999年 京都造形芸術大学学長(~2007年)  
・2010年 静岡県立美術館館長(現在に至る)  
受賞歴: 1981年 サントリー学芸賞(『平賀源内』)  
1984年 大佛次郎賞(『絵画の領分』)  
1997年 紫綬褒章

### 午後の部 ふじのくに 芸術回廊フェスティバル

第1部 伝統芸能 13:30~14:50

はぐく 育まれた地域伝統  
~ふじのくに伝統の誇り編  
ぬまた ゆだてかぐら  
沼田の湯立神楽保存会(御殿場市)  
とうかかい きやり  
東嘉会 木遣(静岡市駿河区)  
かわな  
川名ひよんどり保存会(浜松市北区)

第2部 My Stage 15:10~17:00

若い力、広がる表現  
~ふじのくに未来の希望編

合 唱  
藤枝順心高校コーラス部(藤枝市)  
焼津市立港中学校混声合唱団(焼津市)

ダンス  
JEWEL ジュエル(沼津市)  
Weedy ウィーディ(浜松市東区)  
X-RISE エックスライズ(浜松市南区)

和太鼓  
飛龍高校和太鼓部(沼津市)

ジャズ  
清水・静岡ジュニアジャズオーケストラ  
(静岡市清水区・三島市)

ふじみ  
全員合唱「不尽の山を望る歌」

### 申込方法

ハガキ、ファックス、Eメールで、名前・住所・参加人数(申込者を含む)・参加時間(午前・午後・終日)をご記入の上、以下のあて先にお送りください。  
ハガキ等の到着をもって受付とし、入場整理券の返送はいたしません。(先着600名)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県文化・観光部  
世界遺産推進課 FAX054-221-2980 Eメール sekai@pref.shizuoka.lg.jp  
文化政策課 FAX054-221-2827 Eメール arts@pref.shizuoka.lg.jp

## その他、県が主催する「富士見の祭典」の一部を御紹介します

### 富士見の式典

2月23日(水) 13:15~17:30  
ホテルアソシア静岡「駿府」  
(JR静岡駅北口)

富士山の世界文化遺産登録への決意表明、富士三保松原図屏風受納式、富士山百人一首披露、「ふじのくに」づくり宣言などを行います。

### 秀景ふるさと富士写真展

2月20日(日)~27日(日)  
グランシップ6階 展示ギャラリー  
(JR東静岡駅南口)

全国から募集した「ふるさと富士」写真入選作品のほか、NHK富士山写真コンクール入選作品や中国泰山の写真を展示します。

### 「富士山の日」環境学習会

2月23日(水) 9:00~12:00(予定)  
富士宮市、三島市、東伊豆町、  
南伊豆町、松崎町の公民館など

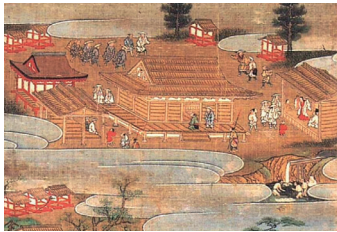
県と各市町の教育委員会が連携し、小学校高学年を対象とした環境学習会を開催します。富士山の自然環境や環境保全の取組などの紹介、富士山クイズ、意見交換などを行います。

今回は、富士山の信仰登山の歴史と深くかかわってきた「村山浅間神社」と「大宮・村山口登山道」を紹介します。

## 富士山信仰の拠点村山

富士宮駅の北東約6km、国道469号線沿いに富士宮市村山地区（元村山集落）があります。現在は静かなこの集落は、中世から明治時代にかけて富士山の信仰登山の拠点だった場所です。かつては富士山本宮浅間大社から村山を経て山頂（現在の富士山本宮奥宮周辺）へと登山道が延びていました。

この道が「大宮・村山口登山道」で、村山は富士山で修行する修験者の拠点やその影響を受け登山を行う一般庶民の宿泊地としての役割を担っていました。これらの人々は神仏の世界である山頂に至ることで功德が得られると考えられていました。16世紀の作とされる「絹本着色富士曼荼羅図」には仏が描かれた山頂を目指す白装束の道者（信仰に基づく登山者）や、当時「興法寺」と呼ばれていた現在の村山浅間神社（別の宗教法人である大日堂を含みます）で水垢離をとる道者が描かれています。



「絹本着色富士曼荼羅図」(部分)  
富士山本宮浅間大社蔵

## 村山での信仰登山

平安時代後半、富士山では噴火の沈静化と修験道の広まりにより山頂を目指す人が現れたとされています。特に伊豆走湯山の僧とされる末代人は12世紀前半に活動し、富士山への登山者の中で実在がほぼ確実とされる最初の人物です。彼は富士山南側より登山し、山頂部で大日寺の建立や経の埋納などを行い、死後には富士山の守護神として祀られました。彼の影響で村山周辺に信仰登山を支える施設が形成されたと考えられ、1259年の銘を持つ大日如来像が大日堂につたえられています。

14世紀前半には富士山中での修行を体系化させた頼尊という僧が村山の宗教施設を再興し、村山は修験者の拠点となっていたとされています。戦国時代の村山には大日堂、浅間神社、末代を祀る大棟梁権現社からなる「興法寺」があり、その管理を行っていた3つの宿坊（大鏡坊・池西坊・辻之坊の「村山三坊」）の修験者は京都の聖護院（修験道本山派の本山）や戦国大名の今川氏と関係を持ち、宗教的にも政治的にも大きな力を持っていました。登山道も次第に整備が進み、奈良興福寺の僧によって1608年に

書かれた『寺辺明鏡集（寺辺明鏡録）』では、浅間大社、村山をへて様々な宗教儀式や施設にお金を納めながら登山する様子が確認できます。「村山三坊」は1779年

幕府の裁定により八合目以上が浅間大社の所有と認められた後も、江戸時代を通じて山頂の一部と登山道を管理しました。



村山浅間神社

## 村山の変遷

18世紀後半から19世紀前半にかけ江戸を中心に「富士講」が隆盛し、その信者の多くが吉田口や須走口を利用する一方で、村山口の利用者はあまり増加せず、富士登山の中心は吉田口となりました。そのような中で1860年、外国人初の登山となるイギリス公使オールコックの村山への宿泊は大きな出来事でした。彼の著書『大君の都』によれば宿泊場所となった大鏡坊では様々な歓迎の準備を行っており、彼はその中でも風呂の仕組みに感心したそうです。

明治に入り、女人登山の解禁などで利用者数は増加しましたが、1907年、富士宮駅からの距離を短縮した「カケスバタ口登山道」が完成しました。この道は村山を経由しなかったため、両者が合流する六合目以下の大宮・村山口登山道はほとんど使用されなくなりました。富士宮市が1993年、静岡県が2008年に行った調査ではいくつかの建物跡が確認されましたが、登山道自体は確認できない部分が多くなっています。

なお、現在村山では毎年7月1日に地元の方が中心となり聖護院の関係者を招いて開山祭が行われています。



開山祭の様子(平成22年)

## 信仰の広がり

村山の修験者は主として関西や三重県・愛知県に影響を及ぼしました。大鏡坊に伝えられた記録によれば、熱心な道者に「先達」の地位を許可し、道者を組織化していました。先達たちは登山が困難な人に対しては現地の川や海で水垢離をとることで富士登山と同様の功德が得られるとした「富士垢離」と呼ばれる儀式を広めました。これら地域のなかで滋賀県や三重県の何箇所かでは現在も富士山信仰や富士垢離が伝えられています。

# 富士山県民講座に約200人が参加

静岡県では、世界文化遺産登録推進に向けた気運の醸成のため、県学術委員会委員等を講師として、県内各地で4回にわたり「富士山県民講座」を開催し、延べ約200人が参加しました。

	月日	場所	講師	内容
第1回	11月21日	裾野市東地区 コミュニティセンター	建部 恭宣氏 (県文化財保護審議会委員)	「富士山信仰と浅間神社の 社殿について」
第2回	11月23日	下田市民文化会館	中村 羊一郎氏 (静岡産業大学教授)	「富士山の歴史と文化について —海からの視点—」
第3回	12月 4日	浜松市 福祉交流センター	山田 辰美氏 (富士常葉大学教授)	「命の山・富士山」
第4回	12月 5日	清水テルサ(静岡市)	東 恵子氏 (東海大学教授)	「富士山と景観について」



熱心に聴講する参加者



画像やイラストを使用し、  
わかりやすい講座となりました

## 【第1回要旨】

浅間神社と名のつく神社は、全国で千三百七社にもものぼりますが、社殿の構造形式にはそれぞれが特徴を持っています。

富士山本宮浅間大社本殿は、「浅間造」と呼ばれる二層構造となっており、神社の本殿でこの構造は全国唯一となります。

富士山信仰の拠点として、現在も多くの人が訪れています。

## 【第2回要旨】

海上において位置を確認する方法である「ヤマアテ」において、富士山は一つの基準点として大きな役割を果たしていました。

江戸時代中頃には既に富士山は信仰の対象としてだけでなく、観光の対象としての側面もあり、そのためのシステムが整えられていたことがわかっています。

## 【第3回要旨】

富士山には全国平均の約一・五倍の降水量があり、地下にはたくさんの水を蓄えています。

青木ヶ原樹海は、約千二百年前に流れ出した溶岩上にできた森で、根が露出していますが、コケに覆われ湿度が保たれているため枯れることはありません。

## 【第4回要旨】

徳川家康は駿府城と富士山の見え方を意識した街づくりを行っていました。

富士山体のもつ地形的条件が信仰に結びついており、火口を八個の峰が取り囲み、山頂が宗教的に昇華された空間として「八葉蓮華型景観」を形成していることがわかります。

## 「県政さわやかタウンミーティング」を開催

静岡県では、県民の声を施策に反映させることを目的に「県政さわやかタウンミーティング」を開催していますが、当課では、一般県民11人の方々に御参加いただき、登録に向けての気運を高める取組や県民一人ひとりができることなどについて様々な御意見をいただきましたので、御紹介いたします。

■月日 12月16日(木)

■場所 富士市交流プラザ

### ■主な御意見

- ① 県民一人ひとりの富士山への思い
- ・ 一般人が村山古道を登れるようになら

ないか。

- ・ 外国人が富士山の価値を理解できるパンフレットや掲示板を作成してはどうか。

② 登録の意義の周知と気運の盛り上げ

- ・ 周知が不足しているので、より効果的なアピール方法を考えたい。
- ・ 県だけでなく、市町や地域で草の根的に活動できる仕組みを考えたい。

③ 登録に向けて県民一人ひとりができること

- ・ 今後も学習会を開催し、学んだことを周囲に伝えたい。
- ・ 富士山検定を活用し誘い合って受検することで、興味を持つ人を増やしたい。

④ その他

- ・ 入山料を徴収し、啓発等登録のために活用してはどうか。
- ・ 入山規制の導入、マイカー規制の期間延長を考えたい。



タウンミーティングでは、活発な意見が数多く出されました

発行 静岡県文化・観光部 文化学術局 世界遺産推進課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 <http://fujisan-3776.jp>  
TEL.054-221-3746 FAX.054-221-2980 e-mail [sekai@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sekai@pref.shizuoka.lg.jp)